

た心持を、ダラさずに、遂に其の生を終へられたのであつたと私は思ふ。人の信仰を司つてゐた僧正のみならず、人の心身の啓發を事とする我々も亦、斯かる意味の上に立たねばならぬのではありますまいか。

◎入會者(四十四年十一月以降)

栃木縣足利高等女學校	(七〇)	阿部 やす
東京市小石川區竹早町七	(未納)	大野 ゆき
長野縣立長野高女	(七〇)	鈴木 いさ
台北西門外街三、一九	(七〇)	宮坂 ゆき
福知山高女	(七〇)	橋本 ひさ
宮城縣角田實科高女	(七〇)	藤尾 けい
魏町區四番町十四	(七〇)	宮川 よし
沖繩縣那覇高女	(七〇)	茂木 けい
朝鮮京城櫻井町三七ノ二	(二四〇)	江口 折枝
四十四年度會費未納者		福井 ひさ
上兼いそ 大野 ゆき		河田 照江
齋藤シネ 鹽見まん		三宅 よし
法貴すゑ 湯田い		

◎會計報告

收入	支出
百十圓十錢厘	六四五、
一金 一、一八〇、	三二五、
一金 七六、九〇〇、	一八〇、
一金 二六、六二〇、	五〇、〇〇〇、
合計一〇四、七〇〇、	五〇〇、
文科會々費生徒より徴收	八一〇、
卒業生ノ會費	六五〇、
生徒雜誌實費	二、〇八〇、
	六、〇〇〇、
	六、一九〇、
	四三、五一〇、

◎敬告

一、卒業生の方より質問欄を設けてはどの御申込みの有候ひしに由り先生とも相談の結果御申上り候ふこと致し候向回答は御急ぎの節には直ちに御本人宛に可答し置き候後他の方々の御参考までに本會誌に掲載いたし申候ふま、御遠慮なく御申込み下され度候

一、四十五年度會費七十錢四月末日まで文科學術談話會部長下田次郎先生宛にて御送附下され度候

附 録

各科參考書目録

以下の諸參考書は本年文科卒業生が各先生方に伺ひ奉りたるものと各自圖書室にて取調べたるものとを集めたるものあり、幸諸姉の御参考に資せばと請うて本誌に記載せり。

◎日本歴史普通參考書目

(一) 通記類

- 一、大日本歴史 (有賀 長雄) 二
- 一、大日本通史 (萩野 由之) (上) 一
- 一、参 日本大歴史 (青木 武助) 一
- 一、國史眼 (重野 三野) (久米、三氏) 一
- 一、國史の研究 (黒杉 勝美) 一
- 一、大日本時代史 九

- 一、日本歴史要義 (藤澤、小島兩氏) 一
- 一、二千五百年史 (竹越與三郎) 一
- (特に現代に關するもの)
- 一、明治歴史 (坪谷善四郎) 二
- 一、大日本現代史 (國府 種徳) 二
- 一、明治四十年史 (國民 書院) 一
- 一、開國五十年史 (大隈 伯撰) 二
- (二) 制度に關するもの
- 一、日本制度通 (萩野、小中村兩氏) 三
- 一、日本法制史 (三浦菊太郎) 一
- 一、日本法制史 (池邊 義象) 一
- 一、増訂日本古代法釋義 (有賀 長雄) 一
- 一、官職制度沿革史 (小中村清矩) 一
- 一、官職要解 (和田 英松) 一
- (三) 倫理并に教育に關するもの
- 一、日本倫理史 (湯本、石川兩氏) 一
- 一、日本倫理學史 (大江 文城) 一
- 一、日本武士道史 (蟻川 龍夫) 一
- 一、日本儒學史 (久保 天隨) 一
- 一、近世儒學史 (久保 天隨) 一

- 一、日本教育史 (佐藤 誠實)
- 二、日本近世教育史 (横山 達三)
- 三、(天) 文學に關するもの
  - 一、國文學史十講 (芳賀 矢一)
  - 二、國文學史講話 (藤岡作太郎)
  - 三、國文學全史(平安朝編) (藤岡作太郎)
  - 四、日本文學史論 (鈴木 暢幸)
- 四、宗教に關するもの
  - 一、日本佛教史綱 (村上 專精)
  - 二、佛教史要(日本の部) (境野 哲)
  - 三、日本佛教史 (石原 即閑)
  - 四、日本宗教史 (土屋 理教)
  - 五、内政外交衝突史 (渡邊修二郎)
- 五、美術工藝に關するもの
  - 一、日本帝國美術略史(農商務省) (横井 時冬)
  - 二、日本繪畫史 (横井 時冬)
  - 三、日本畫沿革史 (兼松 芦門)
  - 四、近世繪畫史 (藤岡作太郎)
  - 五、日本工業史 (横井 時冬)
  - 六、工藝史科 (黒川 眞頼)
- 六、(七) 生學に關するもの
  - 一、大日本農史 (農商務省)
  - 二、日本工業史(前出) (横井 時冬)
  - 三、工藝史料(前出) (黒川 眞頼)
  - 四、日本商業史 (横井 時冬)
  - 五、大日本商業史 (菅沼 貞風)
  - 六、(八) 風俗に關するもの
    - 一、日本風俗史 (藤岡、平手兩氏)
    - 二、日本風俗史 (坂本 健一)
    - 三、近世世相史 (齋藤 隆三)
    - 四、(九) 雜類
      - 一、日本戰史 (參謀本部)
      - 二、(1) 關原役(全四冊) (2) 大坂役(全三冊)
      - 三、(3) 桶狹間役(全二冊) (4) 姉川役(全二冊)
      - 四、(5) 三方原役(全二冊) (6) 長篠役(全二冊)
      - 五、(7) 中國役(全二冊) (8) 山崎役(全二冊)
      - 六、(9) 柳瀨役(全二冊) (10) 小牧役(全二冊)
      - 七、(11) 九州役(全二冊)
      - 八、日清戰史 (北村 三郎)
      - 九、日露戰役史 (巽 來治郎)

- 一、外交志稿 (外務省 記録局)
- 二、極東近時外交史 (巽 來治郎)
- 三、幕府衰亡論 (福地源一郎)
- 四、開國始末 (島田 三郎)
- 五、開國起原 (勝 安芳)
- 六、鎌倉文明志論 (日本地理學會)
- 七、戰國時代史論 (同 會)
- 八、日本海上史論 (同 會)
- 九、日本帝國海上權力史論(小笠原長生)
- 十、日本歷史評林 (萩野 由之)
- 十一、國史論纂 (國學院編)
- 十二、日本歷史寶鑑 (久保 得二)
- 十三、世界に於ける日本人(渡邊修二郎)
- 十四、國史學之彙 (小中村清矩)
- 十五、(十) 圖表辭典類
  - 一、日本讀史地圖 (河田、吉田、高橋、三氏)
  - 二、日本國史地圖 (原 秀四郎)
  - 三、日本歷史參照圖表 (中澤、和田兩氏)
  - 四、日本歷史參考圖 (安西 鼎)
  - 五、日本歷史及地理要覽(喜田、堀田兩氏)
- 一、國史便覽 (重田、中川兩氏)
- 二、日本讀史年表 (大森金五郎)
- 三、大日本人名辭書 (東京經濟雜誌社)
- 四、大日本地名辭書 (吉田 東伍)
- 五、日本歷史地理辭典(藤岡 繼平)
- 六、(外) 大日本史。野史。本朝通鑑。皇朝史略。讀皇朝史略。國史紀事本末。讀史餘論。等
- 七、(外) 東洋史
  - 一、中等東洋史 (桑原 隲藏)
  - 二、東洋歷史講義 (阿部 元三)
  - 三、東洋通史 (久保 得二)
  - 四、參東洋大歷史 (高桑 駒吉)
  - 五、東洋四千年史 (伊賀駒太郎)
  - 六、東洋歷史 (幸田 成友)
  - 七、支那史 (市村、瀧川兩氏)
  - 八、支那通史 (那珂 通世) (宋末迄)
  - 九、支那文明史 (白河、國府兩氏)

- 一、支那思想發達史 (遠藤 隆吉)
- 一、支那法制史 (淺井 虎夫)
- 一、支那文學史 (笹川 種郎)
- 一、支那文學史 (古城 貞吉)
- ◎
- 一、朝鮮史 (林 泰輔)
- 一、朝鮮近世史 (林 泰輔)
- 一、朝鮮史 (久保 天隨)
- 一、朝鮮開化史 (恒屋 盛服)
- 一、朝鮮年表 (森 潤三郎)
- ◎
- 一、印度五千年史 (高桑 駒吉)
- 一、印度文明史 (常盤 大定)
- 一、印度宗教史 (姊崎 正治)
- ◎
- 一、東邦近世史 (田中萃一郎)
- 一、東亞外交史 (野村 浩一)
- 一、極東近時外交史 (巽 來治郎)
- 一、西力東漸史 (中川清次郎)
- 一、西力東侵史 (齋藤 國良)

- ◎ 支那文明史 (白鳥 庫吉)
- 一、東洋歴史大辭典 (同文館發行)
- ◎
- 一、東洋歴史地圖 (石澤 發身)
- 一、世界讀史地圖 (依田 雄甫)
- ◎ 西洋史
- 書名 著者 發行年月 發行所 定價
- 西洋全史 瀨川 秀雄 四富山房 上四、八〇〇 下五、二〇〇
- 西洋史講話 箕作 元八
- 歐洲外交史 酒井雄三郎 三三 東京専門學上二、〇〇〇 校出版部 下一、五〇〇
- 近時外交史 有賀 長雄 三三 右二同、一、五〇〇
- 極東近時外交史 長谷川 貞一郎 長谷川 貞一郎 武蔵野 三三
- 最近三十年外交史 有賀 長雄 長雄
- 萬國讀史系譜全 瀨川 秀雄 四富山房 二、〇〇〇
- 外國地名人辭典 坂本 健一 三寶文館 一、〇〇〇
- (A) 地理學參考書 (和文并に英文)
- 1 一般地理に關するもの
- 内閣統計局出版 日本帝國統計年鑑

- 2.60丸善
- 伊東祐毅 世界年鑑7.00博文館
- Statesman,s year Book 7.00
- Hazel : Annual 6.00
- Encycloypedia Britanica
- Lippincott : Pronouncing Gazetteer of the world 10.00位
- Longman : Gazetteer of the world 10.00位
- 各府縣の統計書類 Geokorppa 8.00
- 内外書籍店の日録 新聞紙の一書籍廣告
- 統計協會 日本統計摘要
- 博文館 市町村一覽
- 2 地理學史
- Keane : The Evolution of Geography 1.00
- Tozen : A History of Ancient geography 1.00
- 3 地理教授法に關するもの
- Geikie : Teaching of Geography (古)
- Parker : How to study Geography (古)
- 4 地誌に關するもの
- Longman : School Geography (古)

- Mill : The international Geography 7.50
- The Regions of the world 12 vol 1 vol. 3. 75 (新)
- Chisholm : Hand book of Geography (古)
- Adams : Commercial Geography (古) 4.00
- Tarr : A complete Geography (新) The world of today (新)
- 山上萬次郎 世界大地誌 (古)
- 野口保興 世界大地誌 (古)
- 野口保興 日本地理提要 (古)
- 山崎直方 日本大地誌
- 佐藤傳藏
- 矢津昌永 日本地理集成 (新) 4.00
- 小島某 瀨戸内海 (新) 4.00
- 博文館 日本名勝地誌
- 内務省地理局 日本地理提要 (絶版)
- 神務署 本曆 .30
- 地學協會編 樺太地誌 (新) 1.00
- 韓國統監府 韓國總覽
- 山上萬次郎 日本政治地理 (古)

海軍水路部 本邦其他の水路誌  
 信夫淳平 韓半島 (古)  
 田淵友彦 韓國新地理  
 Griffis : The Harrit nation (朝鮮)  
 Griffis : Fomosa  
 内務省土木局 韓國誌  
 Playfair : Geographical Dictionary of China  
 野口保興 物産地誌  
 矢津昌永 世界物産地誌  
 工業百科全書

5 地理學通論に關するもの  
 Davis : Physical Geography 3.00  
 Gilbert Brigham : An Introduction to Physical Geography  
 Salisbury : Physiography (advanced course) (新) 6.00  
 Tarr : Physical Geography (古) 3.00  
 Huxley : Physiography (古) 5.00  
 Emil Reich : Chimatology (英譯) (氣候學) 10.00

Davis : Flementary Meteorology  
 Sness : The Face of the Earth (高價)  
 Tylor : Anthrofology (人類學)  
 Keane : Ethnology (土俗學)  
 Wagner : Military Geography  
 Hosmer : Text-book of Praetical Astronomy (實用天文學)  
 Bonney : Volcanoes  
 Young : General Astronomy  
 Chamberlin and Salisbury : Geology 3vols. (地質學) 33.00  
 Hutchinsonde Co : The Living Animal of the world 2vols. 10.00  
 Hutchinsonde Co ; The Living Races of Mankind 10.00  
 Gaitie : Text-book of Geology 15.00  
 Freeman : The Commerical Products of the world  
 Maore : Descriptive Meteorology (記載氣象學) 6.00  
 (Oceanographyに關するもの以下)

野口保興 探檢と地理學  
 横山又次郎 天文地學講話  
 横山又次郎 地文地學講話(出版不明)  
 横山又次郎 人文地學講話  
 石川成章 地文學義義二冊  
 山上萬次郎 大地文學(六冊完成せず) (陸界なし)  
 大森房吉 地震學講話  
 今村明恒 地震學  
 馬場信偏 氣象學  
 小山房吉 日本氣候學  
 須藤傳次郎 星學  
 岡田武松 氣象學  
 田中阿歌摩 日本湖沼學(新)  
 横山又次郎 地學概論  
 牧口常三郎 人生地理學  
 鳥居龍藏 人種學  
 佐藤傳藏 地質學

6 描圖及び實習に關するもの  
 Emil Reich : Hand Book of Physical Geog-

graphy (前出)  
 柘植重美外一氏 描圖法 0.90  
 陸軍士官學校 地形學教程(軍人に依頼すべし)  
 Verner : Map reading A Elementary Field Sketching 2.00 以下  
 Reeve : Map and Map reading 2.00 以下  
 Morrison ; Maps their use and Construction  
 Tarr and von Engeln ; Laboratory Mannal of Physical Geography 2.50

7 地圖掛圖類  
 (獨) Stieler ; Hannnd atlas 19,50  
 (獨) Andrees : Hand Atlas. 25.00  
 (英) Harmwarth : Atlas and Gazetteer 22.00  
 (獨) Hart leben : Volkantlas(新) 7.00.  
 Atlas of Encyclopedia Britannica  
 Atlas of Century Dictionary  
 (獨) Sydow-wagner ; Mathichisches Schnlasz,00

ノ一厚生堂に目錄あり

一万分之一東京附近地形圖  
五万分之一朝鮮地形圖  
百万分之一東亞地圖

北海道廳 五十万分之一北海道地形圖  
二十万分之一地形圖

農商務省地質調査所 地質洋圖二十万分之一  
豫察地形圖四十万分之一  
同 地質圖 同  
同 日本帝國地形圖 同  
同 地質圖 同  
地質説明書付  
大日本地質圖二百  
同 鑛產圖 同  
海軍水路部海圖類 同  
水陸部海圖類 同  
其他 日本郵船會社發賣  
海圖目錄あり

Taschen atlas (海)  
Geschichtsatlas (歴史)  
全部 6.00  
See Atlas (海) 各 1.20  
Atlas antiquas (古)  
Staatsburgeratlas (新)

Philipp ; A Handy volume Atlas

John stone ; Student Atlas

John stone ; Royal atlas 7.00

Droisen ; Geschichts atlas (歴史地圖)

Sydw-Habbenicht ; Wond atlas

7幅 95.00

Kiepert ; Wond atlas

Johnstone ; Commercial chart

Johnstone . Hand book to the Terrestrial  
Globe. 50.

陸軍測量部

二十万分之一輯製  
地形圖

五万分之一地形圖  
二万分之一地形圖

京橋區南  
傳馬

臺灣總督府 臺灣地形圖五十万分之一  
氣象學會 日本氣象圖  
岸田吟香 中東方輿地圖 (古)  
那珂通世 亞細亞東部輿地圖  
地學協會 東亞輿地圖  
三省堂 南滿州及朝鮮地圖説明書付  
3.00

8 旅行案内

旅行案内

Royal Geographical Society : Hints to Travelers.

Beaudeker : Guide Book 各國分冊 (各國語

のものあり

Marrey ; Hand Book to Japan 5.00

貴賓館 ; A Guide Book for Tourists.

9 雜誌類

The Geographical Jural (英) 年 13.00

Journal of Geography (米) 年 3.75

Bulletin of the American Geographical Society (米) 13.00

Publication of the Earthquake Investigation Committee.  
震災豫防調査會の英文 in Foreign Language  
震災豫防調査會報告 官報

地學雜誌 通商彙纂  
地質學雜誌 外交時報  
東洋學藝雜誌 動物學雜誌  
歷史地理 植物學雜誌  
氣象要覽 風俗畫報  
氣象學集誌 山岳  
人類學雜誌 日本鑛業會誌  
實業の日本 東京經濟新報  
國家學會雜誌

10各官省出版物(非賣品)寄附を照會すべし  
寄附せざるものあり

農商務省統計書 同鑛山局出版物  
同農務局出版物 同地質調査所出版物  
同水産局同 同山林局同  
遞信省出版物(郵便電信統計)  
同管船局出版航路標識便覽表

同遞信事業圖解 同郵便線路圖(買ひ得)  
 鐵道院出版物  
 臺灣、樺太、朝鮮、關東州總督府出版物  
 內務省土木局臺灣統計外務省移民調查報告  
 etc etc  
 其他  
 II 説明用繪畫類  
 志賀重昂 世界寫真圖說 2,00  
 帝國地史編纂所 敷島美觀(古)古本を見出すべし  
 Round the world. The Gneer's London  
 世界風俗寫真 Round the Coast  
 南滿州鐵道會社 南滿州寫真帖(非賣品)  
 臺灣總督府 臺灣寫真帖 (全) 古  
 此の外各地寫真繪ハガキをひろく蒐集すべし

(B) 地理學器械器具

革包鉛罐 メートル尺 圖引器械 卷尺  
 黑板用コンパス 撻定規 曲線烏口  
 本行定規 三角定規 本行定規 38.00

(アラユメーター 42.00)  
 歩時計 7.00 傾斜儀 3.50 寒暖計各種  
 map measurer 3.00 比重計 3.00 空盒晴雨  
 計 20.60  
 方位尺 180 虫眼鏡 日時計 7.00  
 兩眼鏡 湿度計 5,00以下 雨量計  
 實体寫真機 丁字定規 製圖板  
 幻燈器械(附屬品ども) 寫真器械(附屬品  
 ども)  
 地球儀 天球儀 各種地形模型  
 器械類標本類は京都島津製作所 東京  
 淺草七軒町教育品合資會社 東京神田  
 神保町三省堂標本部 日本橋區小西寫  
 真器械店 麴町區八重洲町田中合名會  
 社等よりの目錄について見るべし外國  
 文の書籍は丸善株式會社に注文すべし  
 M. Nishimura.  
 Geographical Institute  
 The Tokyo Higher Normal  
 School for Women.

◎漢文

此の一篇は吾等の卒業に際し自修心得として特に簡野先生より承りたる所を筆録したるものなり諸姉希くは此の指南車によりて益々研鑽の功を積まれむことを

漢文自修心得

唐書の藝文志に玄宗兩都各聚書四部、皆令以甲乙丙丁爲號、次列經史子集四庫、とあり、

かくあらゆる漢籍を四部に分類することゝなれりこの中にて經書は漢學の根柢なれば最も熟讀せるべからず、

經書をあつめて一部としたるものを十三經といふ十三經とは易、書、詩、周禮、儀禮、禮記、春秋左氏傳、公羊傳、穀梁傳、孝經、論語、孟子、爾雅をいふ、

この内に就きて最も先づ讀むべきは論語竝に禮記中の大學、中庸、孟子、所謂四書及孝經なりとす、四書、孝經すでに熟せば、春秋左氏傳、書經、毛詩、易を見よ、公羊、穀梁は必しも通讀せず、時々左傳と并觀して互に發明すべく、

三禮はその中にて首要の篇を抄讀し、尙ほ餘力あらば全篇を通讀すべし、わが王朝の制度は、隋唐の制に倣ひたれば、唐六典等にて大略はその本づく所を知るを得べけれども、その淵源は遠く周禮より出づるもの多し、されば周禮は、わが古典を研めむと志す人の座右に無かるべからざる書なり、爾雅は訓詁の祖なれば、漢籍を修むる者、必ず讀まざるべからず、この書は釋詁、釋言、釋訓、釋親、釋宮、釋器以下十九篇に分つ、この中にて釋詁は最も益多し、十三經に列する爾雅は、郭璞の注、邢昺の疏なり、その後陸佃、鄭樵の注あり、

すべて經書を讀むには本註を見るを可とす、末疏は必ずしも一々見るを要せず、

註には、古註と宋儒の註(新註ともいふ)との二種あり、我邦にても王朝の頃は、古註を用ひたること史に明かなり(令の義解の學令を見よ)而るに徳川氏の代となりては、官邊にては宋儒の註に據ることゝ定めたり、宋儒の註は學說として取るべき點多しと雖、訓詁に精しからず

るが爲め、間に牽強の弊を免れず、故に一わたり漢學を修むるには毛詩を除く外は、新註にても可なれども、深く漢學を修めむと志す人は、必ず古註を見むことを要す、古註は十三經の註疏の如きをいふ、

毛詩(一名詩經)は必ず古註(毛傳鄭箋)によりて研究すべし、朱子の集註は序を廢して取らざるのみならず、附會の説頗る多し、従ふべからず參考書には仁井田好古の毛詩補傳、宋の嚴粲の詩緝を善本とす、

近來種々の講義録と稱するものあり、一見便利なるやうなれども、この種の書多くは杜撰にして悉くは信すべからず、初學を誤ること往々あり、最も選擇するを肝要とするなり、學問の要は自得に在り、古人曰く讀書百遍義自見ると思はざるべからず、すべて容易に覺えたるものは容易に忘る、決して身につくものにあらずと知るべし、

史書は史記前後漢書を三史といふ、これに三國志、晉書、宋書、南齊書、梁書、陳書、後魏書、北

政要、劉向の列女傳、皇甫謐の高士傳、朱子の伊洛淵源録、宗名臣言行録等是れなり、

典制の書は杜佑の通典、鄭樵の通志略、馬端臨の文獻通考ありこれを三通といふ、此三通には、各續編皇朝の二あり、合稱して之を九通といふ、これ等は必ずしも通讀するを要せず、時々必要に應じて檢索すべし、

また各代の制度を見るには、兩漢會要、唐六典、唐會要、五代會要、宋會要、明會典、清會典等あり、我が伊藤東涯の制度通も一寸したことを見るには宜し、

地理の書は顧祖禹の讀史方輿紀要、及び明一統志、歷代地理志韻編、李氏歷代地理沿革圖等あり史論史評に關する書は唐の劉子元の史通、清の趙翼の二十二史劄記、清の王鳴盛の十七史商榷等を推す、

文學著作の事を知らむには、二十二史の藝文志又は經籍志を見るべし、これのみを集めたるものに、八史經籍志あり、また宋元學案百卷明儒學案六十二卷は諸家の學說の一斑を知るに便

齊書、周書、隋書、南史、北史、唐書、五代史を加へて十七史とす、また更に遼史、金史、宋史、元史、明史を加へて二十二史とす、右の内にて唐書と五代史とは各新舊の二種あり之を合して二十四史といふこの中にて史記は司馬遷の作にして文章殊に住なれば、史學として貴重すべきのみならず、文學としても必ず讀まざるべからず、右正史の外に、編年體、紀事本末體の二種の歴史あり(編年の史は左傳を祖とす)編年史は司馬光の資治通鑑を最とす、胡三省の注最も益あり、その内にて清の畢沅の著を白眉とす、但温史(司馬光の資治通鑑の異名)は最も善本なれども卷帙浩瀚なれば先づ十八史略、通鑑要要二十一史約編等にてその大體を了すべし、紀事本末體の史は宋の袁樞の通鑑紀事本末を始とす、この書は温史によりて一事件毎にその始末を記し、首尾を具述せり、この書の次に明の陳邦瞻の宋元紀事本末、また清人谷應泰の明史紀事本末、高士奇の左傳紀事本末等出でたり、

雜史中讀むべきの書亦少からず、吳兢の貞觀

なり、子類は漢書藝文志の諸子略中には儒、道、陰陽、法名、墨、縱橫、雜、農、小説の十家に分ち、各その源流を略述せり、この分類は學者によりて一定せず、四庫全書簡明目録には、儒家、兵家、法家、農家、天文、算法、術數、藝術、譜録とし、その位はすべて雜家に入る、これ名家、墨家、縱橫家の如きは、その書少くして別に一類を立つるの要なければなり、

儒家に屬する書にて讀むべきは孔子家語、荀子二十卷孔叢子三卷揚子法言十卷(五臣註本を可とす)陸賈の新語一卷賈誼の新書十卷桓寬の鹽鐵論十卷考證三卷王充の論衡三十卷劉向の新序、說苑、王符の潜夫論箋十卷荀悅の申鑑、隋の手通の中説十卷(一名文中子)朱子と呂東萊との近思錄集註十四卷劉基の郁離子、二程全書五十卷朱子語類百四十卷 宋の黃震の黃氏日抄 九十五卷 薛瑄の讀書錄十卷續錄十二卷 王守仁の傳習錄三卷 陳宏謀の五種遺規十五卷小學集註 六卷 顧炎武の日知錄集釋三十卷 閻若璩の潜邱劄記六卷等なり、

道家にて讀むべきは老子(王弼註)莊子(郭象註)列子(張湛註)の三書なり

兵家にて讀むべきは齊の孫武の孫子十三篇衛人吳起の吳子六篇を主とす、宋の元豐中、孫吳の二書に司馬法、尉繚子、三略、六韜、李衛公問對を加へ合輯して武經七書とす、わが國にても、この七書を慶長十一年に翻刻せしより、兵家必讀の書となれり、明の劉寅の七書直解十二卷は善本なり、和版もあり、

法家にては韓非子二十卷(太卷方の翼義津管子二十卷(安井息軒の纂話を見るべし))田鳳の解詁七卷(北齊)管子二十卷

農家にては齊民要術十卷(魏)賈思勰藝術にては法書要錄十卷書史會要十卷佩文齋書畫譜百卷(康熙四十七年勅撰)

譜録にては古考圖十六卷宣和博古圖三十卷欽定西清古鑑四十卷金石索十二卷を推す、また三禮圖、松本愚山の五經圖彙も參考に便なり、雜家にては墨子十五卷(經訓堂墨子)淮南子二十一卷(高誘註)善とす、和版あり)抱朴子八卷(晉)葛洪著顏子家訓七卷(北齊)顏子推著呂氏春秋二十六卷(高誘註)呂氏春秋

に及ぶべし、

古詩文共總集を讀みたれば、更に各家の別集を見るべし、即ち杜工部集、陶淵明集、李太白集、東坡七集、高青邱集、韓昌黎集、柳集、宋學士全集等に及ぶべし

すべて詩文の眞味を玩賞せむには、己も亦作り試みざるべからず、漢文を作らむとすれば先づ復文をなして、文字の用法を了解するを要す、伊藤東涯の用字格、操觚字訣、徂徠の訓譯示蒙、譯文筌蹄、皆川淇園の助字法、虛字解、實字解、山本北山の作文志毅、漁村文話、拙堂文話、文章一貫等の書を博く覽るべし、

訓詁を研むるには、五雅、爾雅、小爾雅孔鮒廣雅魏の博雅隋の埤雅宋の雅韻を始めとし玉篇三十卷(康熙)張揖、正字通、說文解字三十卷(宋)戴侗、六書故三十三卷(宋)李文仲、千祿字書一卷(唐)顏元孫等を見るべし、

故事成語を知るには經籍叢詁、佩文韻府、五車韻瑞、圓機活法、駢字類編、書言故事等を見らるべし、

小説にては梁吳均の西京雜記六卷(博物志)十卷(晉)張華の作世說新語宋劉義慶五雜俎謝肇淛山海經十八卷(漢)等あり

類書にては、藝文類聚一百卷(唐)歐陽詢編太平御覽一千卷(宋)李昉等編冊府元龜一千卷(宋)王欽若等編玉海二百卷(宋)王應麟編六帖白居易編蒙求集註二卷(唐)李翰撰事物紀原十卷(宋)高承著事文類聚宋祝穆等編事類統編淵鑑類函、佩文韻府、子史精華、小學紺珠王應麟編純正蒙求元胡炳等あり、

人物傳記を知るには萬姓統譜一百六十卷(明)凌迪知尚友錄、國朝先正事略、國朝文獻徵存錄、書史彙傳、氏姓韻編等あり、

集類にては日本名家文鈔、文章軌範、古文真寶後集、謝選拾遺、唐宋八大家文、山陽の小文規別及び古文典型等を見、更に清古文所見集、國朝二十家文抄、古文析義、古文觀止、古文辭類纂、唐宋文醇文選(李善の註最も良し)等に及ぶべし、

詩は山陽詩鈔、遠思樓詩鈔、黃葉夕陽村舍詩、竹外二十八字詩、星巖詩集の如き解し易き邦人の作を一涉し、更に錦繡段、唐詩選、三體詩、古文真寶前集、五朝別裁詩、唐宋詩醇、楚辭等

韻字を知るには詩韻含英、韻府一隅の類にて足る

解題には四庫全書簡明目録、張之洞の書目答問、四庫全書總目提要二百卷また今人の著書にて桂湖村の漢籍解題は初學に便利の書なり、

以上は自修者の心得べき梗槩を略述せしのみその詳説に至りては、到底一場の講話の述べ盡す所にあらず、尙ほ終に臨みて習字に志す人の參考の爲め一言せむ、

草書字書には水戸にて編せし草露貫珠を主とし草字彙、草書淵海、草訣百韻等あり、書法を研むるには書法正傳、內閣祕府字訣、漢溪書法、米庵墨談等あり、

法帖は淳化法帖を推せども、善本は極めて少し、近年寫真石版に翻刻せし三希堂法帖は、頗る玩賞するに足る、また和刻なれども水戸藩の垂裕閣法帖は、精良愛すべし、彼の戲鴻帖の眞を失するにまさること萬々なり、



◎國語科參考書

Table listing books for the National Language subject. Columns include book title, author, publisher, and price. Titles include '國文註釋全書', '落窪物語大成', '十訓抄詳解', etc.

Table listing books for the National Language subject, continuing from the previous page. Columns include book title, author, publisher, and price. Titles include '標註東西遊記', '大鏡讀本', '改訂教科日記略解', etc.

◎教育

Table listing books for the Education subject. Columns include book title, author, publisher, and price. Titles include '新体詩歌集', '藤村詩集', '古今和歌集正義', etc.

(教育學)

Table listing books for the Education subject, specifically focusing on Educational Science. Columns include book title, author, publisher, and price. Titles include '教育學精義', '教育學講義', '女子研究', etc.

現今教育ノ研究小西 重直 同文館二、八〇  
 教育教授ノ新潮榎山 榮次 目黒書店二、〇〇  
 新教授法ノ新研究榎山 榮次 目黒書店二、〇〇  
 教育大辭典 乙竹 岩造 同文館七、〇〇  
 教育學書解說 三九 育成館四、〇〇  
 Raymont, Principles of Education Sangmann's 1907 25F

Horne, Philosophy of Education

◎論理學參考書

書名 著者 出版年月 發行所 定價  
 惹穩 論理新編 添田 壽一譯 十六、四 日本橋 一、八五  
 氏 論理新編 井上哲次郎校閱 十六、四 日本橋 一、八五  
 論理撮要 中島 力造 三十一、五 普及本舍 六、五  
 第十二論理學 高山林次郎 三十一、九 日本橋 五、五  
 新論理學 坪井九馬三 三十一、一 神田裏神保町 三、五  
 論理學講義 中島 力造 三十四、七 大坂東區 八、〇  
 中等論理學 服部宇之吉 三十五、十 富山房 二、〇〇  
 論理學 大西 祝 三十六、二 東京橋區尾張町 一、六〇

◎修身科參考書

書名 著作者 發行年 發行所 定價  
 通俗倫理談 全 坪内 雄藏 三六 富山房 一、二〇  
 教育的倫理學全 吉田 熊次 四三 弘道館 一、三〇  
 社會的倫理學全 吉田 熊次 三七 有朋館 八、五  
 日本武士道 重野安釋合著 四二 大修堂 一、五〇  
 孝道文學 全 日下 寬合著 四四 富山房 一、五〇  
 倫理學 全 桑木 殿翼補譯 三〇 富山房 一、八〇  
 倫理學大系 全 坪内 雄藏 四一 富山房 一、五〇  
 倫理學 全 深井 健治郎共 三三 博文館 一、八〇  
 獨逸伯林大學教授パウルセン著  
 倫理學 全 日本文學士 蟹江 義丸譯 三二 博文館 一、三五  
 中等倫理學全 秋月胤繼譯 三二 同文館 九、〇  
 倫理學說十同 中島 力造 三一 富山房 九、〇  
 青年修養訓 全 嘉納治五郎 四三 同文館 一、八〇  
 坤 德 清藤 正輔 三五 國光社 一、三五  
 日本自助論 井口 丑二 四一 東京巢鴨郵便局區上駒 三、五  
 シヤウウツイク氏 中島 力造 四一 同文館 一、〇〇  
 倫理學說 全 遠藤 隆吉 四二 弘道館 二、〇〇  
 倫理學 全 四野 一耶譯 三五 金港堂 二、〇〇

倫理學序論 渡邊 龍聖 三三 開發店 六、〇  
 一名批評的論理學 中島 力造 四一 目黒書店 八、五  
 修養講話 全 中島 力造 四一 目黒書店 八、五  
 祝祭日講話資料全教育實際社編纂四四 實文館 一、八〇  
 國民愛國心 穂積 八束 三〇 有斐閣本店 四、〇  
 教育愛國心 穂積 八束 三〇 有斐閣本店 四、〇  
 神田錦町二丁 四、〇  
 將來倫理及宗教 元良勇次郎 三三 勉強堂書店 四、〇  
 西國立志編 中村正直譯 九  
 ◎倫理、心理、宗教 新著梗概  
 ◎教育、社會學、哲學新著梗概  
 中島 力造 四四 目黒書店 六、〇  
 新伊蘇普物語全 上田 萬年 四〇 神田駿河臺鈴木町十二 八、〇  
 訓練論 吉田 熊次 四三 弘道館 三、〇  
 小講堂講話 育 成 會 三一 同文館 三、〇  
 修身百首 杉谷 正隆 三〇 國光社 二、〇  
 吉田 靜致共編四一 同文館 一、三〇  
 實踐倫理講義 佐藤善次郎 四一 同文館 一、三〇  
 帝國百科全書社會倫理學 德谷豊之助 三八 博文館 五、五  
 第三百三十一編 中島 力造 三四 日本橋區吳服町 七、五  
 現今倫理學問題 能 勢 榮 二四 金港堂 六、〇  
 實踐道德學 三輪田真佐子 三〇 國光社 三、〇  
 女子教育要言 細川潤次郎 三九 明治圖書株式會社 三、五  
 修身要領 吉田 靜致 三六 本郷元町右文館 一、七  
 倫理學講義 元良勇次郎 三三 本郷元町右文館 一、八〇  
 主觀道德學要旨 藤井健次郎 四三 弘道館 一、九

教育的倫理學 藤井健次郎 三七 同文館 一、二〇  
 倫理學 全 桑木 殿翼補譯 三〇 富山房 一、八〇  
 儒門精言沙翁全集 西村 茂樹 三六 東京府南區神田區大 一、四  
 幼學綱要廿一卷 元田 永孚 一四 宮内省藏版  
 我國體之基督教 加藤 弘之 四〇 金港堂 二、五  
 我國體之基督教 加藤 弘之 四〇 金港堂 二、五  
 氏 倫理學說 中島 力造 四二 同文館 一、二〇

(倫理學史)

書名 著者 發行年月 發行所 定價  
 西洋倫理學史講義全 吉田 靜致 三八 富山房 二、二〇  
 日本風俗史上下 藤岡作太郎 二八 日本橋區各、八五  
 日本倫理學史 大江 文城 三九 葺屋町東陽堂 一、五〇  
 ゴント倫理學史 角田柳作譯 三七 金港堂 七、五  
 日本倫理學史 湯本武比古 三四 開發社 一、六〇  
 日本倫理史 有馬 祐政 四二 博文館 五、五  
 日本佛教史綱上下村上 專精 三一 金港堂 五、五  
 日本倫理史綱 足立 栗園 四一 京橋區銀座大日 六、五  
 東洋倫理史要 久保 得二 三七 育成會 一、三〇  
 倫理學史上下 木村鷹太郎 三三 博文館各二、八〇  
 倫理學史 山本 良吉 三〇 富山房 一、〇〇

日本倫理彙編

一、陽明學派の部 中上  
 二、全 下  
 三、全

四、古學派の部  
五、全朱子學派の部  
六、全折衷學派の部  
七、全獨立學派の部  
八、全  
九、全  
十卷  
井上哲次郎編纂  
一四、〇〇

◎雜書

書名	著者	發行所	定價
日南集	福本 白南	東京堂	二、〇〇
梁川文集	網島 梁川	日高有隣堂	二、二五
自然界の矛盾と進化	加藤 弘之	秀英 舍	一、七〇
陽春廬雜考	小中村清矩	東京樂地活版製造所	二、〇〇
殘花一輪	市川禪海	帝國書院	一、二〇
鹽尻	村瀬兼太郎	帝國書院	三、〇〇
詩與畫趣	小杉 未醒	彩雲閣	〇、八〇
百家說林	今泉 定介	吉川 半七	二、二〇
文學論	夏目金之助	大倉 書店	二、〇〇
肉彈	櫻井 忠温	博文館	〇、七〇
櫻牛全集五	高山林次郎	服部書店	一、五〇
釋迦牟尼佛と女性	宮崎 眞	富山圖書	二、〇〇
劇と文學	坪内 雄藏	大日本圖書	二、〇〇
沙翁全集	淺野 澤	株式會社	〇、八四

エマーソン論文集	戸川 明三	玄黃社	一、四〇
(歴史)			
血闘本敬神黨	小早川秀雄	隆文館	二、五〇
此一戰	水野 廣徳	博文館	一、〇〇
元祿快舉錄	三田村玄龍	啓成舍	一、二〇
日米之新關係	高橋 作衛	清水 書店	一、八〇
菅公論纂	高桑 駒吉	富山 房	〇、五〇
露細亞之將來	齋藤清太郎	支那調查會	一、三〇
支那現勢論	支那調查會譯述	支那調查會	〇、七〇
(傳記)			
偉人野中兼山	西内 青藍	中央教育社	二、三〇
東洋成効軌範	松下 長重	中央教育社	五、〇〇
(修身)			
人格と品位	浮田 和民	宏文堂	一、三〇
女子の心	高島平三郎	洛陽堂	〇、四五
學修法	澤柳政太郎	同文館	〇、八〇
學長家庭眞婦人	高橋 淡水	秋葉 和助	〇、二〇
訓話	水野鍊太郎	清水 書店	一、〇〇
他山の石	新渡戸稻造	東京堂	一、七〇
修養	嘉納治五郎	同文館	一、八〇
青年修養訓	和田垣謙二	至誠堂	一、〇〇
青年諸君	上杉 慎吉	實文館	一、〇〇
婦人問題	宮川壽美子	實文館	一、〇〇
三ばら主義			〇、八〇

◎教科書

之れは現一、二年文科生が各母校にて使用せし教科書なり以て目下各學校にて使用せる教科書の大体を知り得べし

再高等女 訂學校用國語讀本	元元書房編輯所	發行所
高等女子讀本	大日本圖書株式會社	
明治女子國語讀本	佐藤 球	
訂高等女子讀本	明治書院	
訂女子國語讀本	篠田利英 岡田正美 合著	
訂女子國語讀本	吉田彌平 小島政吉 合著	
明治女子讀本	關根 正直	
女子中等國文讀本	關根 正直	
女子國語讀本	吉田 彌平	
範師用國語教科書		
(文典)		
日本文典	大 概 文 彦	
明治文典	芳 賢 矢 一	
(漢文)		
漢文教科書		

女子漢文教科書  
女子漢文讀本  
高等女子漢文讀本  
師範 漢文讀本  
(地理)

日本地理教科書	山上萬次郎	地理研究會
日本地理教科書	志賀 重 昂 著	
統合地理教科書	山上萬次郎	
女子日本地理教科書	山崎 直 方	
日地本理教科書	山上萬次郎	
最近統合日本地理教科書	山上萬次郎	
帝國新地理	三 省 堂	
最近統合帝國地理	山上萬次郎	
(外國地理)		
外國地理	志賀 重 昂	
統合地理教科書		
統合地理		
外國地理教科書	山上萬次郎	

最統合外國地理  
〔地 文〕

教科書

統合地理

女子 地理教科書

近統合地文學

地理教科書

〔歷史〕

〔日本歷史〕

日本歷史

日本歷史

修正 國史教本

女子 日本歷史

日本內國小史

近世五十年史

にほんれきし上下

日本歷史教科書上下

日本國史教本

にほんれきし教科書

山上萬次郎

山崎直方

山崎直方

山上萬次郎

脇水鐵五郎

下村三四吉

峰岸米造

下村三四吉

新保磐次

新保磐次

新保磐次等

增澤長吉

下村三四吉

下村三四吉

三上參次

〔西洋史〕

女子西洋史教本

西洋史

女子西洋歷史教科書

女子西洋史

西洋歷史教科書

女子西洋歷史

西洋歷史教科書

西洋女子西洋史

西洋女子西洋史

改訂女子西洋歷史(全)

〔東洋史〕

東洋史

東洋史

東洋史教科書

東洋歷史教科書

女子東洋歷史

新東洋歷史教科書

編東洋女子東洋史

女子東洋歷史教本

百八

下村三四吉

桑原騰

箕作元八

小川銀次郎

下村三四吉

下村三四吉

稻葉常楠增澤長吉著

箕作元八

新保磐次

下村三四吉

桑原騰

桑原騰

下村三四吉

下村三四吉

桑原騰

增澤長吉

桑原殿翼

下村三四吉

改訂女子東洋歷史(全)

西洋歷史教科書

〔修身〕

女子修身教科書

高等女學校用修身書

明治女大學

聖諭教本女子用

師範學校修身教科書

倫理教科書

〔教育〕

教育學

教育史

教育學教科書

教育的心理學

近世教育學

女子教育學

教授法

管理法

教育提要

新保磐次

井上哲次郎

文部省

加藤弘之中島德藏(一四)

源原元一

吉田靜致

井上哲次郎高山林次郎

小泉又一

小泉又一

小泉又一

小泉又一

小泉又一

小泉又一

小泉又一

小泉又一

小泉又一

小泉又一

小泉又一

小泉又一

百九

